

# 海況速報

平成8年度 第2号 (通算 No.50)  
平成8年6月28日  
北海道立水産試験場

内容についての問い合わせは

中央水試海洋部 0135-23-4020

## 5月下旬～6月中旬の海況

### 【日本海海域】

北緯44度，東経 139度に暖水渦（中心：200m層水温3℃以上）があります。この渦は4月に北緯43度30分にあったものが北に移動したもののようです。また，新たに二つの暖水渦が発生しました。一つは武蔵堆西方に接する位置に（200m層水温5℃以上），もう一つは岩内湾沖に（200m層水温5℃以上）あります。

道南の渡島大島付近に冷水渦が発生し，前回（4月）暖水渦に覆われていた時に比べ，たとえば50m層では8℃台から5℃以下と水温が逆に下がりました。

暖水渦・冷水渦のあるところを除いて水温について見ると，200m層は全域で累年平均(\*1)並となっています。表層では北緯45度30分で累年平均に比べ+0.4～+1.4℃と高くなっていますが，北緯44度30分で約-1℃，北緯43度30分以南では約-2℃となっていて南の方ほど低い傾向になっています。50m層・100m層では大体-0.5～-2.0℃の範囲に入っていて，水温は全体的に低い状態にあります。

余市における沿岸水温（旬平均）は，5月上旬から6月中旬まで，平年値に比べ-1.3～-0.4℃の範囲にあり，平年よりやや低い状態が続いています。

### 【道東太平洋海域】

今回は前回（4月）と海況が似ています。北緯41度以北について見ると，東経 144度以東では100m層水温が5℃以下の親潮の水に広く覆われています。前回，襟裳岬南方にあった暖水塊と思われた水塊は北緯41度よりさらに南にあった暖水塊(\*2)と100m層以浅では合体し，たとえば50m層水温で8℃台をこの暖水塊の範囲とすると，北緯40度から北に150km以上，襟裳岬から30海里以内のところまでその影響は及んでいます。このため，親潮の主流部は三陸沖まで直進できず，この大きな暖水塊の東側，東経 145度30分あたりを南下していると考えられます。

水温は，50m～200m層では累年平均に比べ-1～+1℃の範囲のところが多くなっています。表面水温は，道東沿岸近くでは累年平均に比べ0～+3℃と高い傾向にありますが，その沖側では-2～0℃と逆に低い傾向にあります。

### 【道南太平洋海域】

日本海から太平洋に流れてくる津軽暖流の最高水温を示す下北半島沖の水温は，各層ともほぼ累年平均並となっています。

恵山岬以北の海域では，50m層・100m層とも水温5℃以下で親潮の影響を強く受け，ま

た、これらの層の水温は累年平均に比べ $-2\sim 0^{\circ}\text{C}$ の範囲に入るところが多く、水温は低い状態にあります。しかし、200m層では水温が $5^{\circ}\text{C}$ 以上のところが多く、これは、累年平均に比べると $+1\sim +2^{\circ}\text{C}$ の範囲になり、100m層以浅とは逆に水温が高い状態にあります。この原因については、4月以降襟裳岬南方の沿岸よりの大陸棚に接するように暖水塊（らしきもの）があり、道東～道南の沿岸沿いに浅いところを流れる沿岸親潮(\*3)は道南海域まで達することができるのに対し、100m層より深いところまで流れる親潮は、主流部が三陸沖まで直進できずに暖水塊の東側を迂回するように流れるために、道南海域に十分供給されないためと考えています。

### 【オホーツク海海域】

前年同期（平成7年6月）と同じく、表面の冷水帯がすでに形成されています。

水温について見ると、表面では、累年平均に比べ $0\sim -3^{\circ}\text{C}$ の範囲に入るところが多く、水温の低い状態となっています。50m層以深についても累年平均に比べ多くのところで低くなっています。特に、知床半島の付け根の沿岸よりのところでは宗谷暖流の厚さが薄いために、50m層ではまだ冬季冷却を受けたオホーツク表層水の影響が残り、累年平均に比べ $-7.3^{\circ}\text{C}$ となっています。

資 料		〔観測期間〕
青森水試	（東奥丸）	平成8年6月5日～同6月6日（東北日本海海域）
稚内・網走水試	（北洋丸）	平成8年6月4日～同6月6日（オホーツク海海域）
釧路水試	（北辰丸）	平成8年5月29日～同6月4日（道東太平洋海域）
函館水試	（金星丸）	平成8年5月27日～同5月29日（道南太平洋海域）
函館水試	（金星丸）	平成8年6月4日～同6月10日（東北日本海海域）
中央水試	（おやしお丸）	平成8年6月3日～同6月8日（道西日本海海域）
中央水試	（北洋丸）	平成8年6月10日～同6月11日（道北日本海海域）

\*1: 平成元(1989)年～平成7(1995)年までの平均値を使用しました。

\*2: 50m層～200m層まで水温 $8^{\circ}\text{C}$ 以上の暖水塊は、4月に北緯40度00分、東経144度20分付近に中心があったが、今回は東経143度40分まで西方に移動している。

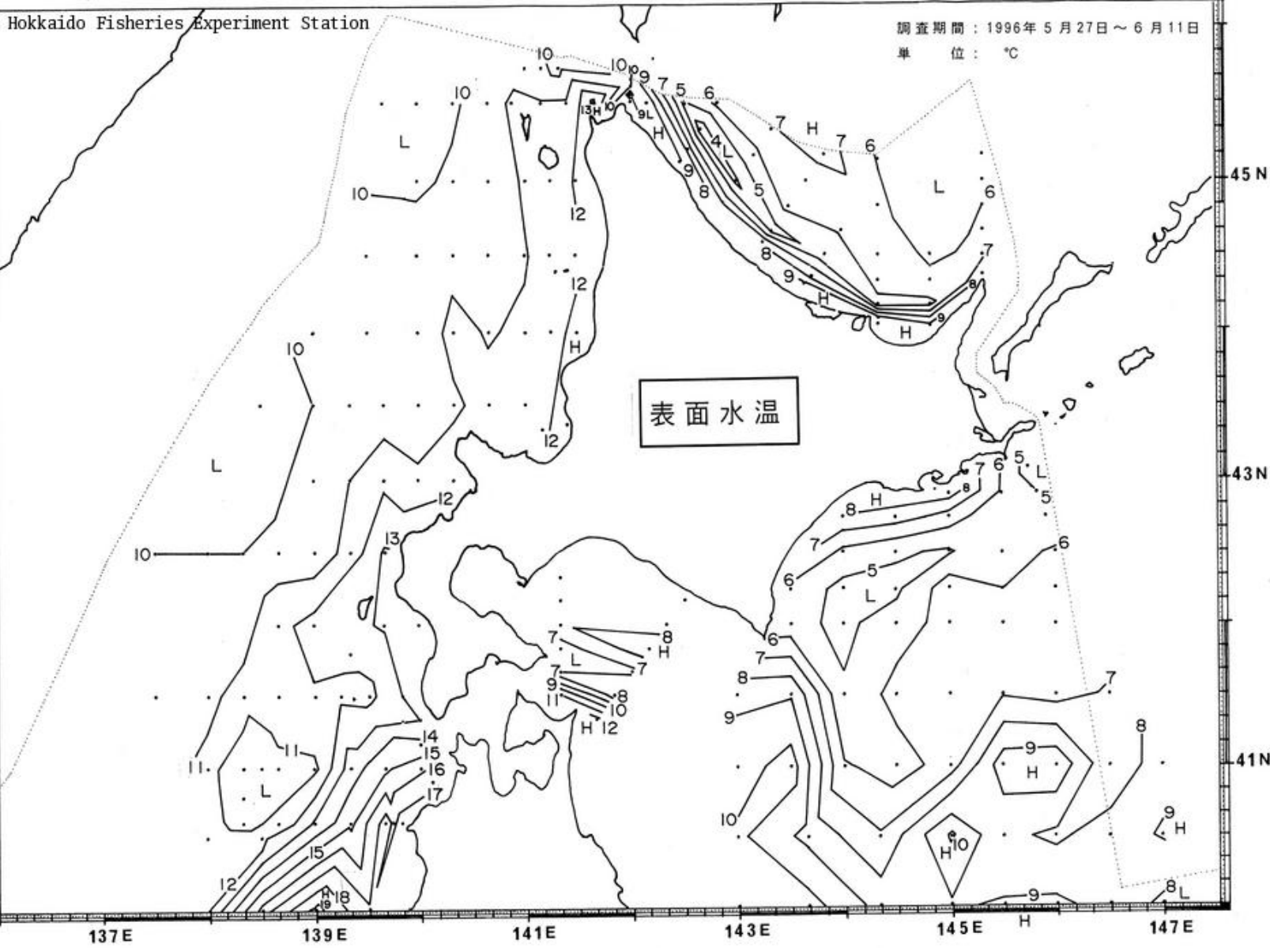
\*3: オホーツク海の流氷の融氷水を含む親潮として特に沿岸親潮という名前が付けられています。

（中央水試 海洋部）

Hokkaido Fisheries Experiment Station

調査期間：1996年5月27日～6月11日  
単位：℃

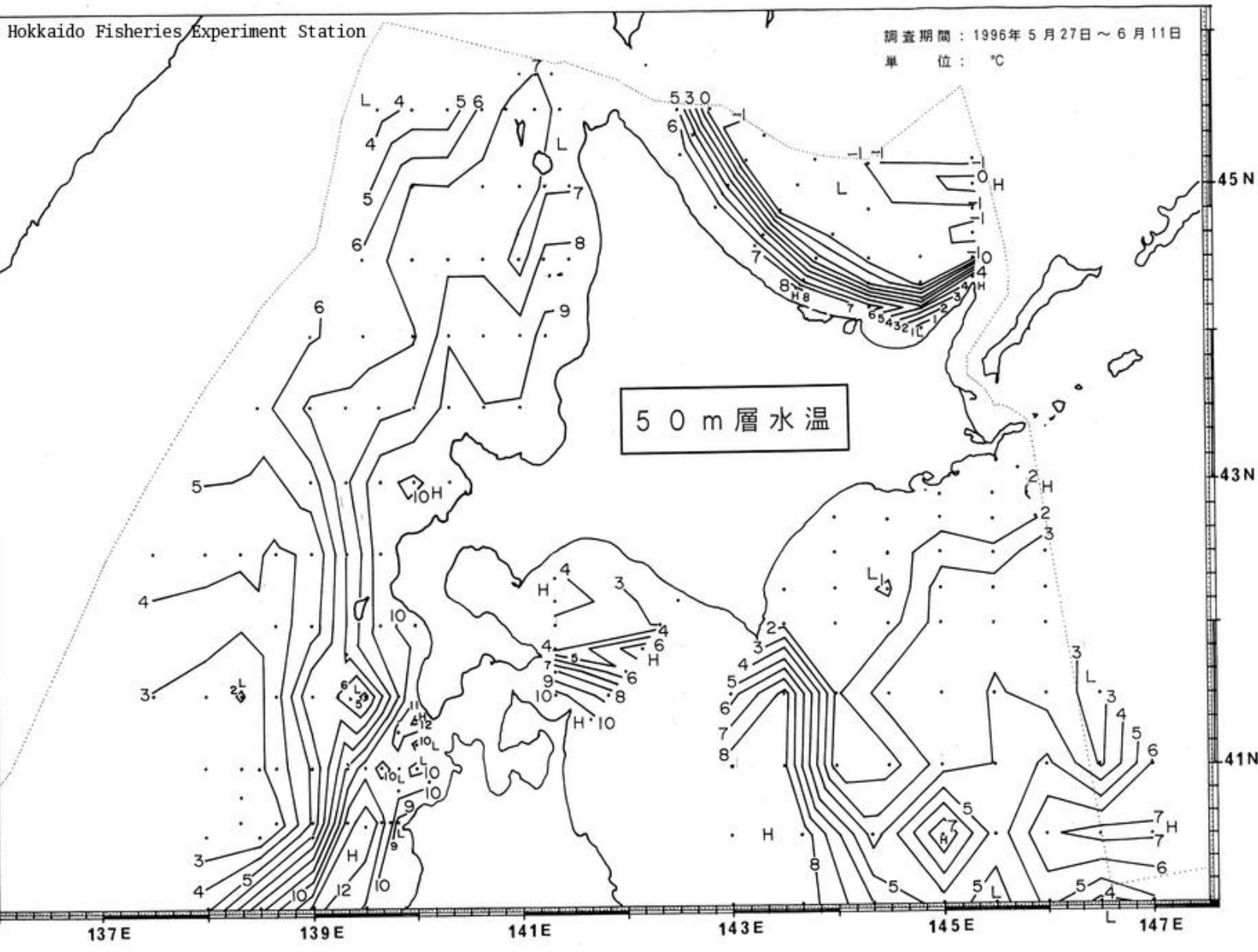
表面水温



Hokkaido Fisheries Experiment Station

調査期間：1996年5月27日～6月11日  
単位：℃

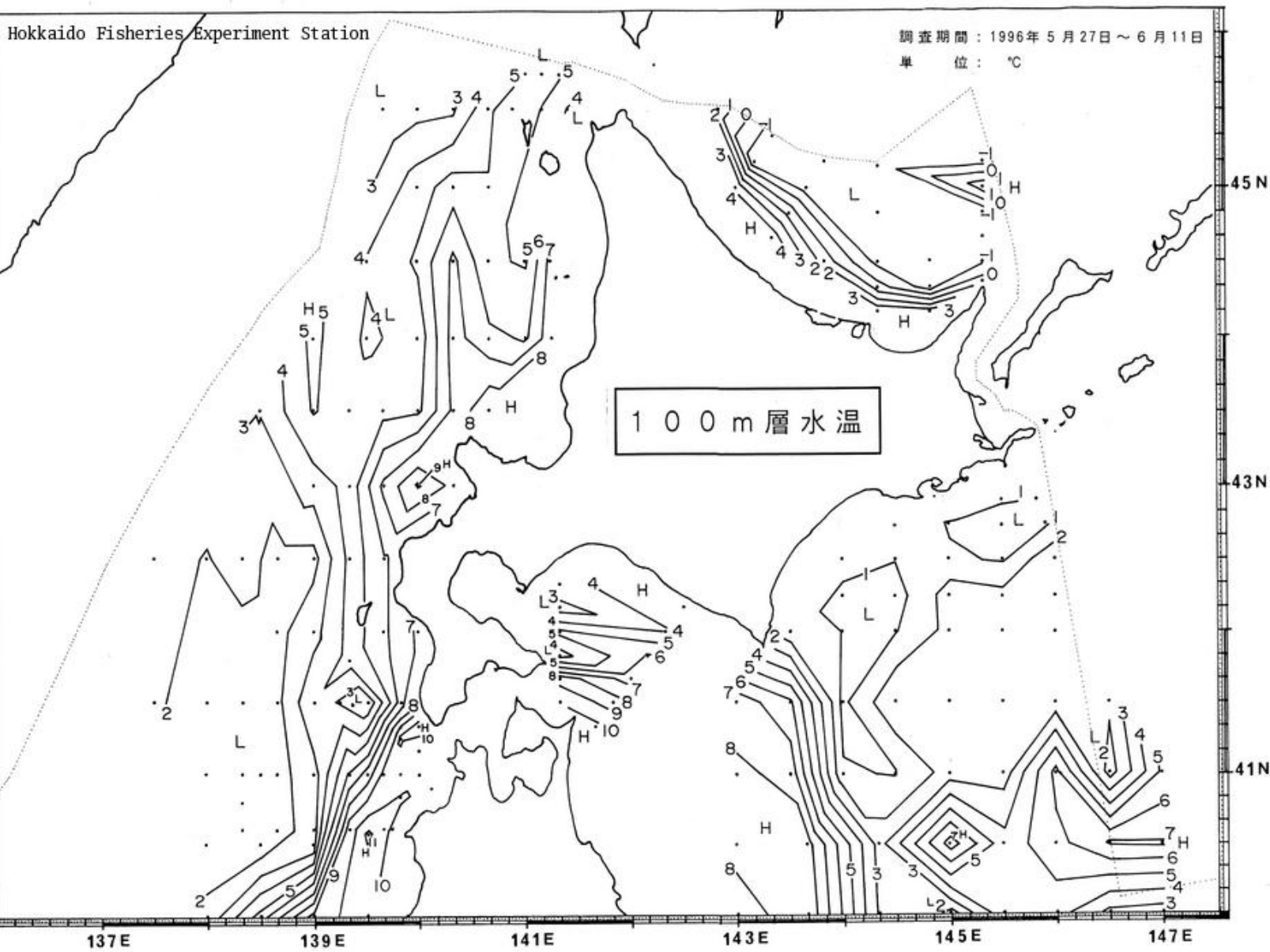
50 m 層水温



Hokkaido Fisheries Experiment Station

調査期間：1996年5月27日～6月11日  
単位：℃

100m層水温

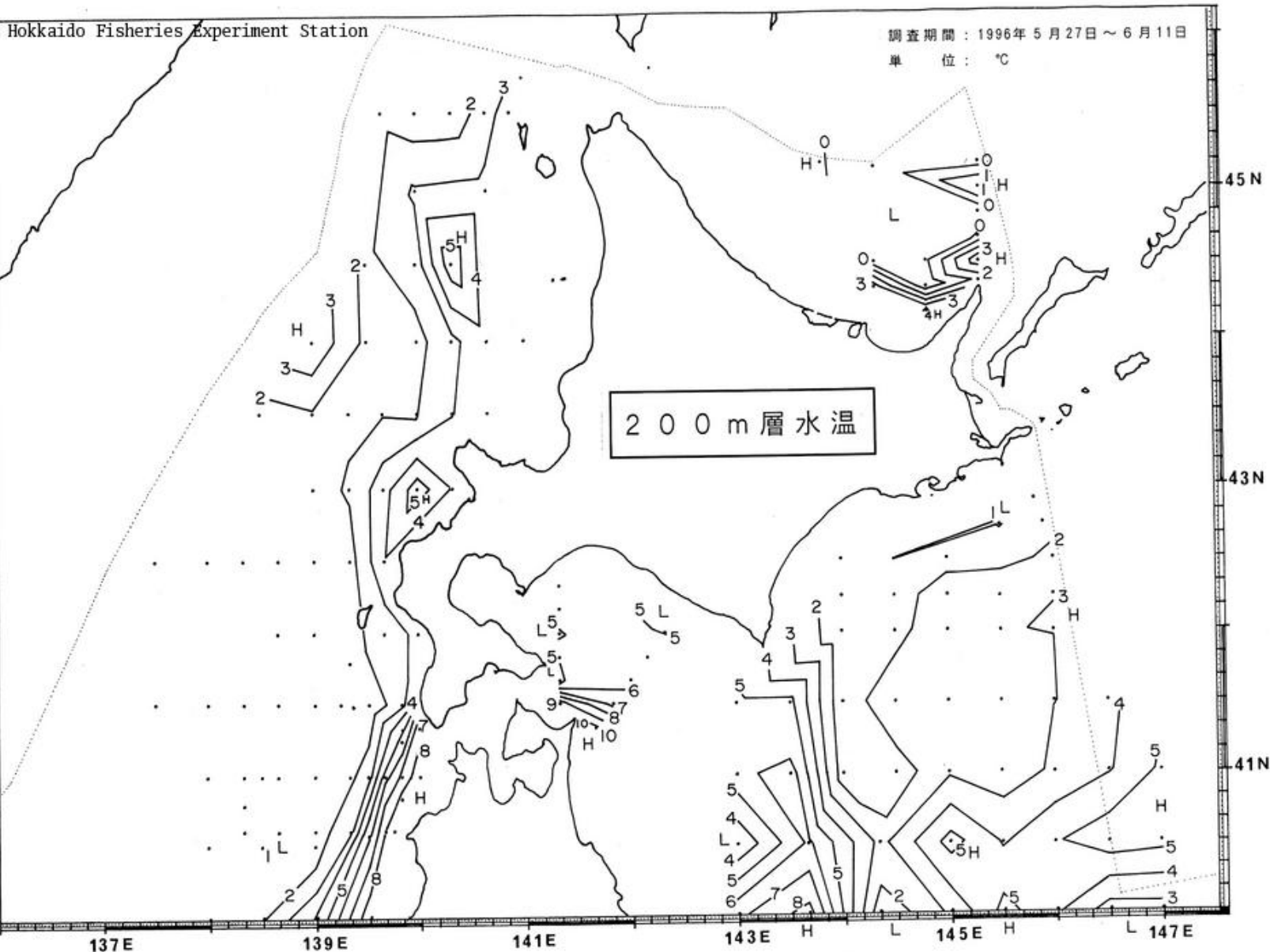


Hokkaido Fisheries Experiment Station

調査期間：1996年5月27日～6月11日

単位：℃

200 m 層水温



137E

139E

141E

143E

145E

147E

45 N

43 N

41 N